長洲町立長洲小学校　校長便り　No.１１１

みんなの居場所

裏面の話題

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、諺、慣用句等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話が広がります。

令和5年8月28日(月)

長いと感じていた夏休みもあっという間に終わってしまいました。今年の夏休みは、息子達と一緒に高校野球で盛り上がりましたが、とにかく暑いので、アウトドアよりインドアが多かったですね。

夏休み中に、数名の教え子達が我が家を訪問してくれました。どちらも結婚の報告です。案内状は頂いていたものの、どうしても2人で挨拶に来たいということでの訪問でした。こういった訪問はとても嬉しいですね。私は小学校勤務しか経験がないので、教え子達との濃密なかかわりは12歳で一旦ストップします。その後は教え子達次第で長く付き合いがある子もいれば、音沙汰無しの子もいます。でも、教え子達との思い出はいつまでも消えないもので、そういったお子さんの人生の節目の時間の共有ができるということは、正に教師冥利に尽きます。お陰で9月は3回の結婚式に参加させて頂きます。

関わってきた子供達には、その接し方のベースには「厳しさ」があります。もちろん「厳しさ」は「教育的愛情」と表裏一体です。私の教え子達は、接している時には常時「緊張」が強いられたのではないかと思いますが、殆どの子供達は、あの場面があって良かったと言ってくれます。

校長職におりますと直接子供達に「語る」場面は少なく、物足りなさを感じることもありますが、そういった場面を補うためにも「みんなの居場所」執筆を頑張ります。

【独り言】ロマン？

教師の仕事をしていると、休日に何をすれば良いか分からなくなることがある。夏休みは特にそうだった。自分の場合は仕事のことが頭から離れず、休もうとか遊ぼうとか、気持ちを切り替えようとしてもどうしても仕事のことを考えてしまう。そんな中に、この活動だけは気持ちを切り替えやすいのが、プラモデル作りだ。子供の頃夢中になったから今その反動が来ているのかもしれない。今は家内に「何が楽しいの？」と軽くあしらわれる。「男のロマンが解んないかなぁ？」と言えば、「ロマン？　ただの趣味でしょ。」

カメラ、バイク、それに関係する様々な品物にはやはりこだわるのである。ネットで見つけた一言「大いなる無駄にお金を使うことは、人生を豊かにする。」この感覚は解り辛いのかもしれない。どうでもいいようなことにこだわり深く追求してしまうこと、道具や物にこだわること等々、世の中にはそんな人が多いように思う。子供にも同じことが言えるのではないだろうか？　子供達は興味のあることに集中して取り組むことがよくある。遊びも学習も同じだ。興味のあるものへのこだわりは子供達にとっても「ロマン」を感じているのではないだろうか。それを私は「学びに対する力・主体性」と考えたい。学習指導要領はこの点について重要視しているのだ。子供達の主体的・協働的で深い学びを支える為に、我々教師は子供達の学びに対する芽を摘まないようにしていきたい。

とは言ったものの、右記の文章はいかにも自分の趣味を正当化し、あれを買いたいたいこれを買いたいという自論見を正当化する文章にも見える。この文章がご家庭での口げんかの種にならないことを祈るばかりである。（私にはストレス発散にも効果があるのだが…）

シリーズ「自分を語る」＃111

平成21年度の担任業務を楽しみつつ順調にこなして、いよいよ卒業の時期を迎えました。分厚い文集は700ページを超え、リレーマラソンでもマラソン世界記録に迫る記録を達成し、「卒業したくないなぁ…。」と呟きながらも、子供達はどこか誇らしげでした。私は6年生を担任させて頂く事が多く、その都度子供達に同じような話をしていました。

「卒業式で泣いたらいかん。これでお別れではなく、これから続いていく人間としての繋がりの第一歩だからな。」

どちらかというと涙もろい私ですので、涙を流さずに済むようにそんな話をしていたのかもしれません。でも、それを象徴するような出来事が起こりました。（というか、そういった繋がりを狙った学級経営を行ってきたので、当たり前といえば当たり前です。）玉名郡小時代の教え子からいきなり電話がありました。

「センセ～、今から行っていいですか。ちょっと連絡が…。」

「金は持っとらんぞ。お前銀行勤めやろ、自分で何とかせぇ。」

「相変わらずですね、センセ～。話しっこうのは案内状のことです。」

「大体想像しとった！　おめでとう！　夕方ならおるぞ。」

結婚するという報告と結婚式の案内状を2人で持って来るとのことでした。この子は高校時代に野球部に所属し、ちょうど3年の時甲子園に出場しています。しかも、私が担任させて頂いたそのクラスに高校も同じで野球部で一緒に甲子園に行った子もいました。そのことを知っていましたので、宿舎に応援のファクスを送ったことがありました。その子たちの年齢からすると、突然電話がかかってくる場合、殆どが結婚の連絡です。中々嬉しいものです。何せ会場に行くと同窓会のように当時の子供達がいますからね。しかも、小学校時代の担任が結婚式に出席するのは珍しいらしく、よく声を掛けて頂きます。祝辞を述べさせて頂くことも多く、教師冥利に尽きます。

話が反れてしまいました。卒業式当日、殆どの子供達は涙を見せずに卒業式を終えました。当日は家族と一緒にこの一年間を振り返ってほしいという私の考えでしたので、一仕事終えて私も自宅で卒業アルバムを見ながら、ゆったりした時間を過ごしました。数日後、保護者の方が準備された宴会に参加させて頂きました。この会が大盛り上がりでした。地域の公的スペースを使って、子供達も一緒に食事会でした。その会の最後にある保護者の方からこう提案がありました。

「この会は第1回澤田会です。節目節目に会を行います。その都度連絡しますので、奮ってご参加ください！」

という訳で、この時の教え子達は32歳ですが、既に澤田会は結婚式を含め第5回を数えます。嬉しいものです。

さて、卒業式後でしたでしょうか翌日でしたでしょうか、また校長先生からの呼び出しです。

「澤田先生、ご苦労様でした。で、来年度（平成22年度）の相談です。」

今度は何？　と顔が引きつるのを感じる澤田でした。

（つづく）

※　「みんなの居場所」に関するご意見ご感想をお寄せください。（「みんなの居場所」への掲載の　可　・　不可　）